

加古川市男女共同参画センターニュース

講座情報

2023
3

主催／加古川市女性団体連絡会・加古川市

参加
無料

～当事者に聞く、当事者の想い～

えるじーびーていーきゅーぷらす

LGBTQ+について知っておいてほしいこと



「LGBTQ+ってなに？」

「本当に身近にいるの？」

「当事者の人に、どう接すればいいのかわからない・・・」

当事者の人はどんなことに悩み、どのような困りごとがあるのか、
本当の想いを聞いてみませんか？

3月18日(土)

14:00～15:30

市民交流ひろば 会議室 2

【定員】80人(先着順・要申込)

【一時保育】無料・要申込・定員あり

【申込み】電話で、男女共同参画センターへ

【講師】井上ひとみさん

特定非営利活動法人カラフルブランケッツ理事長
大阪市人権施策推進審議会委員



本業は獣医師。趣味はDIY。
高校3年生のときにレズビアンであることをはっきり
と自覚するが、誰にも相談できない日々を送る。
2015年同性パートナーと公開結婚式を挙げ、公にカミングアウト。
2018年大阪市パートナーシップ宣誓証明制度を第1号で利用。
2019年NPO法人を立ち上げ、民間団体や企業、小・中学校、大学など
から依頼を受け講演活動などを行っている。

同時開催

(主催：特定非営利活動法人カラフルブランケッツ／共催：加古川市)

「私たちだって“いいふうふ”になりたい展 in 加古川 2023」

LGBTQ+カップルの今を、見て・知って・考えてみませんか。
お二人の写真や互いに宛てた手紙、直筆のメッセージが書かれた展示などもあります。

● 3/8(水)～16(木) 加古川図書館

● 3/18(土) 市民交流ひろば会議室 1

いずれも午前10時～午後5時

催しでの新型コロナ
ウイルス感染防止対策

・入場時には検温を行い、37.5度以上の発熱がある場合は入場をお断りします。・マスクの着用をお願いします。
・入場の際は、手指消毒を行ってください。・感染状況により、開催を中止・延期又は内容を変更する場合があります。

トピックス

メディア・リテラシーと男女共同参画



「メディア・リテラシー」という言葉をご存じですか？テレビ、インターネット、新聞などのメディアから発信されるさまざまな情報を主体的に読み解き、活用するとともに、自己発信する能力のことです。

メディアは私たちの生活に欠かせないものですが、メディアからの情報を日常的に見聞きしていると、「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」と、無意識に性別による固定的役割分担意識をもってしてしまうことがあります。例えば、過去のテレビCMでは、女性が料理や洗濯などの家事をする姿や、男性が一家の大黒柱として働く姿など、「女性は家庭、男性は仕事」を連想させる表現が多く見受けられました。性別による無意識の思い込みは、相手に価値観や行動を押し付け、相手や自分の可能性を狭めている可能性があります。家事や仕事の役割分担は性別によって固定されるものではないことから、現在は、男性・女性が一緒に家事や仕事、育児に取り組んでいる表現に変わってきています。



このように私たちは、メディアが発信する情報をうのみにせず、発信者の意図や目的を正しく受け取ることが大切です。そのためには、自分で考え、確認して判断し、情報を正しく読み解きましょう。また、私たちは日常生活でSNSなどを使って情報を発信しています。正しい情報を取捨選択し、発信する前には、自分の価値観を押し付けていないか一度考えてみることも大切です。

～男女共同参画推進専門員からのメッセージ～

3月弥生、春はそこまでやってきました。私にとって3月で忘れられないことと言えば、やはり12年前の東日本大震災です。

あの日、夕方から上京する予定だった私は、東京で地震！とニュースで一報を聞き、当初「新幹線は動いているのかな？」とのんきに考えていました。まさか地震によって、あのような大津波がきて大災害になっているとは全く知らず、後から見た映像が信じられませんでした。阪神大震災を経験している私は、このような災害はもう二度とないと思いましたが、あれから東日本大震災のほか各地で地震、台風、大雨、大雪な

どいろいろな災害が起こっています。

私の日々の生活は、非常勤の仕事しながら母の介護とともにあります。「災害になったら、身体が不自由で車いすの母を、どうやって避難させることができるのだろう。」「私が不在のとき母はどうするだろう。」と心配は尽きません。日ごろの備えはもちろん、家族だけでは困難なときに、周りの人に助けてほしいと言えるように、日ごろから近所の人とコミュニケーションをとってたいと思います。そして、困っている人がいたら手をさしのべ、お互いに助け合えるよう、日頃から防災の意識を持ち続けてたいと思います。(K)

ママとベビーのピヨピヨサロン



主催：加古川市連合婦人会

【日時】3月7日(火) 10:00~12:00

【会場】市民交流ひろば 会議室2

【内容】ひな祭り&エプロンシアター

【対象】4~12か月の子どもと保護者

【参加費】無料

【定員】20組(先着順・要申込)

【持ち物】母子健康手帳、
水筒(水分補給できるもの)

【申込み】加古川市連合婦人会事務局(男女共同参画センター内) Tel.079-424-7172

七段かざりのおひなさまと、季節のお花で、桃の節句をお祝いしましょう♪

3歳までのお兄ちゃん、お姉ちゃんも一緒に参加できます。



トピックス 日本の政治と男女共同参画

世界経済フォーラムが 2022 年に発表したジェンダーギャップ（男女間の格差）指数の日本の総合順位は、146 か国中 116 位でした。このジェンダーギャップ指数は、「政治」「経済」「教育」「健康」の 4 つの分野で構成されており、中でも政治分野は 139 位と 4 つの分野の中で最も順位が低く、課題が大きいことがわかります。

国会議員の女性議員割合は衆議院 9.9%、参議院 25.4%（それぞれ 2022 年 7 月 8 日現在、7 月 28 日現在）。女性の政治参画が少ないと、男女双方の視点を欠いた政策につながってしまい、子育て支援や男女間の賃金・経済格差の改善の遅れや、多様な意見が反映されない可能性があります。「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」では、男女の候補者の数ができるだけ均等になることを目指すために、国・地方公共団体は、政党等の政治活動の自由及び公正を確保しつつ、必要な施策を策定し、実施するよう努めるものとするとしています。



政治参画する女性が増え、女性に限らず誰もが活躍できる社会を実現するためには、さらなる取り組みが必要ですね。

政治参画する女性が増え、女性に限らず誰もが活躍できる社会を実現するためには、さらなる取り組みが必要ですね。

順位	国名	値
1	アイスランド	0.908
2	フィンランド	0.860
3	ノルウェー	0.845
4	ニュージーランド	0.841
5	スウェーデン	0.822
10	ドイツ	0.801
15	フランス	0.791
22	英国	0.780
25	カナダ	0.772
27	アメリカ	0.769
63	イタリア	0.720
79	タイ	0.709
83	ベトナム	0.705
92	インドネシア	0.697
99	韓国	0.689
102	中国	0.682
115	ブルキナファソ	0.659
116	日本	0.650
117	モルディブ	0.648

▲「ジェンダーギャップ指数 2022 年」（内閣府 HP より）

男女共同参画センターニュース（開催レポート）

『父と子のふれあいタイム プチアウトドア 気分を味わおう！』（12月10日開催）

加古川少年自然の家で、講師に島津聖さん（プレイフルワークス代表）を講師にお招きして開催しました。お父さんとお子さんが楽しみながらダンボールで窯を作り、ピザを焼きました。島津さんより、「人生の中で子どもと一緒に過ごせる時間は短いので、お父さんは育児を楽しみながら積極的に関わってほしい」など、男性の家庭参画についてお話いただきました。

参加者からは「子どもと一緒につくり、良い経験となりました」といった感想をいただきました。



『自分の考えを相手に届ける「伝え方」』

（1月26日開催）

職場や地域活動で必要なスキルのひとつ「伝え方」についてのセミナーを開催しました。

伝え方のポイント、伝える内容の組み立て方のコツ、相手のタイプに合わせた伝え方などを学びました。参加者からは、「ついダラダラ話してしまうので、今日の学びを活かしたいです」「伝え方が上手な人を具体的に考えることができ、すぐに実践しようと思います」といった感想をいただきました♪



『自分らしく働くための一歩～「なりたい私」になる～』（1月28日、2月4日開催）

働いている女性・働きたい女性を対象に、女性向けのセミナーを開催しました。講師は(株)ICB 代表取締役の瀧井智美さん。2回にわたり、自分らしく働くためのヒントを学びました。

第1回は、「アンコンシャス・バイアス」を考えよう。アンコンシャス・バイアスとは無意識の思い込み。自分や社会が持つ無意識の思い込みや、それにより生じる弊害、対処法など、具体例を交えた講義で、参加者からは「自分でバイアスを作っていないか、考えるきっかけになりました」「個々の価値観を

大切にすることに気付きました」といった意見が出ました。

第2回は、「アサーティブ」を身につけよう。アサーティブとは

自己尊重の自己表現

講師からの、「自分の中にも多様性があり、正解はない。アサーティブは考え方のプロセスが大事」の言葉に参加者の皆さん、うなずいておられました。セミナー終了後も講師の方や参加者同士での交流が続きました♪



▲「アサーティブを身につけよう」スキル。アサーティブや、それを阻むものについて学びながら、自分のアサーティブ度チェックを行い、アサーティブ・トレーニングを行いました。



▲「アンコンシャス・バイアスを考えよう」

相談窓口のご案内

社会保険労務士による

女性のための労働相談

お気軽にご利用ください♪

職場でのさまざまなトラブルについて、解決への道筋をアドバイスします。たとえば、上司や同僚との人間関係のトラブルも法的に考えると解決できる場合があります。また職場のトラブルには、行政への申告制度やあっせん制度、そして司法による調停制度などもありますので、ぜひその悩みをご相談ください。
—兵庫県社会保険労務士会 加古川支部—

3月15日(水) 14:00~19:00

※一時保育あり(3月9日までに要予約)



相談
無料

要予約

キャリアコンサルタントによる

女性のための働き方相談

「履歴書や職務経歴書の書き方がわからない」「面接のトレーニングをしてほしい」「今の働き方を見直したい」「起業したい、起業に興味がある」「転職したい」「子育て、介護がひと段落したので働きたい」など、あなたのチャレンジしたい気持ちについて、私たち男女共同参画推進専門員にご相談ください。



男女共同参画推進専門員

キャリアコンサルタントの資格を持つ私たちが専門的な視点から問題点を整理するお手伝いや、必要な情報提供を行い、あなたのチャレンジを応援します。ご相談お待ちしております♪



男女共同参画推進専門員

◆毎週 水・木曜日 10:00~15:30

※一時保育あり(相談日の1週間前までに要予約)



働き方相談の様子

♪編集後記♪ 厚生労働省では、女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすために、3月1日から8日を「女性の健康週間」と定めています。厚生労働省のホームページ「みんなで知ろう。婦人科のこと～婦人科って何するところ?～」では、女性の年代ごとの健康の悩みや対処法が学べます。私も、パートナーの小さな体調の変化に気づき、体調が悪いときは普段お願いしている家事や育児を交代したいと思います。

講座の申込み・問合せ

加古川市男女共同参画センター

〒675-0065 加古川市加古川町篠原町21-8

カピル21ビル5階

【電話】079-424-7172

【FAX】079-454-4190

【業務時間】月～金曜日

9時00分～17時30分

※祝日、年末年始、施設保守点検日を除く

ホームページ:「加古川市男女共同参画センター」で検索
フェイスブック:「かこがわさんかくねっと」で検索

令和5年3月発行



公式フェイスブック
「かこがわさんかくねっと」



○指定駐車場をご利用の方は、1時間または2時間無料券をお渡ししますので、駐車券をご持参ください。

<指定駐車場>①加古川駅前立体駐車場 ②オーエムパーキング
③平成パーキング ④OKパーキング

○駐輪場は★加古川駅南自転車駐車場(2時間以内は無料)をご利用ください。